

生命の中心教義： セントラルドグマ

講演概要：

生命に必要な情報はDNAに書き刻まれています。この情報をもとに、RNAが作られ、さらに生命活動を担うタンパク質が作られます。DNAからタンパク質への情報の流れがセントラルドグマであり、細胞の最も重要なプロセスです。本講義では、セントラルドグマの理解に必要な、細胞を構成する分子について解説します。次にセントラルドグマとバイオテクノロジーについて簡単に説明します。最後に、遺伝子とがんなどの疾患、医薬品開発などについて議論します。

11/8 (金)

細胞を作り出す分子

1

11/22 (金)

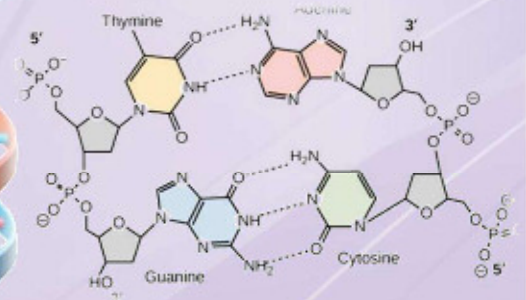
細胞の中心教義

2

12/2 (月)

遺伝子と病気

3



(各回)10:00~11:30



【講師】三好 大輔 (ミヨシ ダイスケ)

甲南大学フロンティアサイエンス学部教授、博士(理学)

1971年京都府に生まれ、甲南大学大学院自然科学研究科博士課程修了

米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校博士研究員

甲南大学先端生命工学研究所講師 同大学フロンティアサイエンス学部准教授を経て現職
専門は核酸化学、分子設計化学

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入の上、ハガキかファックスで9月16日までに公民館へ(応募者多数の場合は市民を優先の上、抽選)※結果はハガキでご連絡いたします。

会場401室 / 定員90名
受講料1200円(3回分一括)

【宛先】〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館
主催：芦屋市立公民館 TEL:35-0700 FAX:31-4998